

新たな成熟地域へ
「これからのきよはらのまちづくり」

未来へダッシュユ!!

概要版

清原地域 ビジョン

平成24年3月

清原地域振興協議会

目次

1 策定にあたって	1
(1) 清原地域ビジョンの策定趣旨	1
(2) 清原地区の変遷と展望	2
(3) ビジョンの位置づけ	3
2 清原地区の地域ビジョン	4
(1) 地域ビジョンのイメージ	4
(2) 清原地区の将来の地域のイメージ	5
(3) 清原地区の10年後の姿 ～ 3つの視点から ～	6
3 将来の地域像の実現に向けた重点課題	9
(1) 地域交流拠点(テクノ区域)をつくり高める	10
(2) 交通基盤・機能を強化・活用する	12
(3) プロスポーツチームが活動しやすい環境をつくる	15
<コラム> 地域の人々が描く将来の清原地区の姿 1	17
(4) 企業と交流を深める	18
(5) 「食」をつくり届ける	19
(6) 人々が憩い集える場をつくる	21
<コラム> 地域の人々が描く将来の清原地区の姿 2	24
(7) 快適に暮らしやすいまちをつくる	25
(8) 災害・犯罪に強いまちをつくる	28
<コラム> 地域の人々が描く将来の清原地区の姿 3	30
4 地域づくりの課題	31
◇ 清原地域ビジョンの策定・実現にあたって	33



1 策定にあたって

(1) 清原地域ビジョンの策定趣旨

～ これからも「暮らしやすく、活力に満ちた地区」として、

宇都宮市の発展を牽引し、将来の清原の地域づくりの指針とするために ～

清原地区のまちづくりに取り組んでいる清原地域振興協議会では、将来を展望した今後のまちづくりの目標や指針となる「地域ビジョン」が必要であるとの意見が数多く出され、作成の機運が高まったことから、その準備を進めてきました。

このような中、平成20年度からスタートした第5次宇都宮市総合計画において「地域が主体となったまちづくり」が掲げられ、清原地区へビジョンづくりについての話があり、平成21年より「きよはらの10年後のあるべき姿」の作成に向けて、清原地域振興協議会内に策定委員会と4つの作業部会を設けて作業に取り組んできました。

清原地区は、他都市からの転入による定住人口の増加や生産拠点（産業拠点）としての発展による交流人口の増加などにより、当地域を取り巻く環境は大きく変化し、人々の価値観も多様化しております。このため、私たちが抱える地域課題に迅速かつ的確に対応していくためには、地域主体のまちづくりがますます重要になっております。

このような変革の時代を迎え、清原をいつまでも住みよいまちとするため、また、私たちの子どもたちに素晴らしい清原を引き継いでいくため、私たちには、” 将来を見据えたまちづくり” が求められているのではないのでしょうか。

清原地域振興協議会では、地区内の皆様へのアンケートの結果を踏まえ、清原地区の将来のあるべき姿・目指すべき地域像を明らかにし、これからのまちづくりの方策をまとめ、清原にふさわしい地域ビジョンを策定いたしました。

より良いまちづくりを実現するには、何よりも地域の皆様のご理解とご協力が重要です。今後ともオール清原体制で、この地域ビジョンに掲げた夢があふれる地域づくりに取り組んで参りますので、より一層のご支援をお願いします。

(2) 清原地区の変遷と展望

変遷

私たちのまち清原地区は、明治22年の市町村制度の施行により「清原村」として誕生し、昭和29年8月に宇都宮市と合併して今日に至っております。長い間農村地域であった清原地区は、陸軍宇都宮飛行場の整備以降は時代の流れとともに変貌を遂げ、高度経済成長期の大規模な住宅団地の開発、清原工業団地の造成、作新学院大学の開校など、産・学・住・農・遊のバランスのとれた地域として発展してきました。特に、清原工業団地は1万人以上の労働人口を有し、平成21年度は工業生産高1兆円を超えて宇都宮市工業生産額の60%を担う国内の内陸最大の工業団地として成長を遂げています。



清原村役場



兵舎を利用した清原中学校

展望

清原地区の人口は、昭和29年の1万人から平成23年には2万4千人に増加し、今後テクノポリスセンター地区（計画人口1万3千人）の整備が進むことにより、さらなる人口増加が見込まれています。これにより商業施設の進出も期待され、国道408号の整備による広域交通網の整備や中心市街と結ぶLRTの導入により交通アクセスの向上が図られると、さらに拠点性は高まり、宇都宮市にとどまらず芳賀・高根沢方面も含めた「宇都宮東部の拠点」として、清原地域は大きく変容するものと思われま

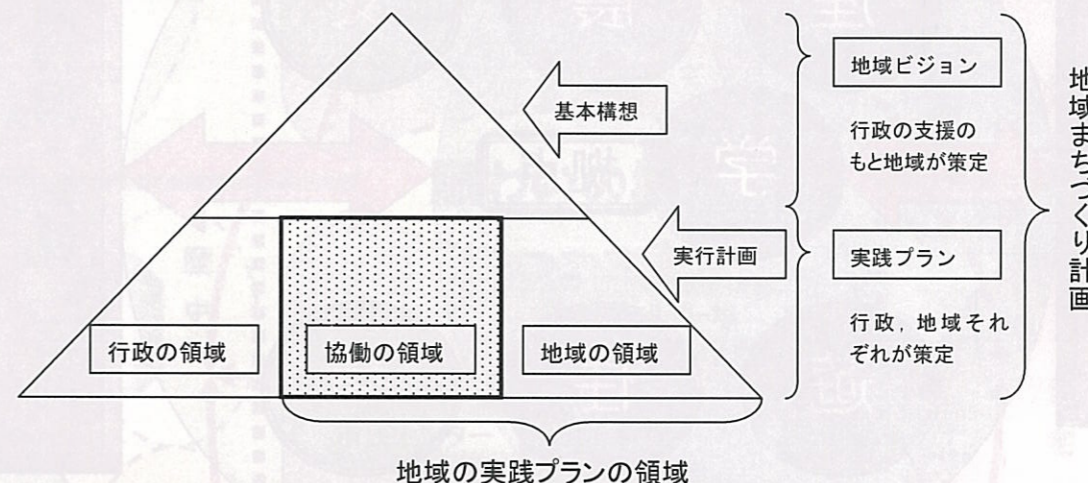
(3) ビジョンの位置づけ

地域ビジョンの目標年次

策定年次から10年後（平成33年）の清原地区のあるべき姿を目標として掲げています。

地域ビジョンの位置づけ

「地域ビジョン」は、地域と行政の協働によるまちづくりを推進するために、地域が、行政と協力・連携しながら、地域の意思としてつくりあげるものです。



※ 行政は、地域の目指すべき姿を尊重し、その実現に向けた地域の主体的な取組を支援する役割を担います。また、地域の目指すべき姿を共有し、全市的な視点や市を取り巻く社会状況などを総合的に勘案し、意見交換を行いながら、地域との協働により取組を進めます。

清原地域ビジョンの位置づけ

これまで清原地域振興協議会では、各委員会において様々な地域課題の検討を進めてきました。特に、地域住民の生活に関わる緊急かつ重要な案件については、特別委員会を設置して課題の解決に取り組んできたところです。

今後は、このビジョンをもとに地域づくりをさらに推進していきます。尚、改定時期の到来や見直しが必要な際には、本ビジョンを基本として、それまでの取り組み内容を検証しながら改定するものとし